

環境に優しく、いつでも身近で発電！小水力エネルギーについて学ぼう

## 地域学習会 in 仁淀川町

小水力のエネルギー利用において、エネルギーを引き出すポイントは、水の「落差」と「水量」です。全国の中でも特に降雨量が多く、地形が急峻であるということで、非常に潜在エネルギー量の多い高知県の中でも、仁淀川町はナンバーワンの可能性を秘めています。そして自分で利用する電力を生み出すだけでなく、地域活性化の一手にもなり得ます。

### 【小水力のえいところ】

1. 大規模発電(ダム)などと違い、環境負荷が非常に少ない。
  2. 24時間安定的に発電できる。
  3. 発電設備の寿命が長く、ランニングコストが安い。
- そしてなんとと言っても、
4. 仁淀川町内にはいたるところに発電可能ポイントがある！！
- あなたのお家の横の谷川でも発電が可能かもしれません！

ちょっと興味があるなあという程度でかまいません。当然、導入に関してはいろいろと問題(とかめんどくさいこと)もあります。協議会はそんなめんどうなことをサポートするために、今年3月に設立されました。えいこと、めんどうなこと、全部ひっくるめて、ぜひこの機会に話を聞いてみませんか？

日時:8月28日(日)14:00～16:00

場所:仁淀川町中央公民館(大崎) 3階会議室

\*参加費無料です。

主催:高知小水力利用推進協議会(尾崎県知事が顧問です！)

<http://sites.google.com/site/kochishp/>

お問い合わせ:片岡桂子 0889-32-2688(17:30～21:00)

[kurikei@rio.odn.ne.jp](mailto:kurikei@rio.odn.ne.jp)

当日は高知小水力利用推進協議会の以下のメンバーがわかりやすく説明します。

#### ■古谷 桂信

高知県出身、関西学院大学社会学部卒

水辺の暮らしや、環境保全に関する取材を続けるフォトジャーナリスト

平成22年度環境省小水力利用容量拡大事業コーディネーター(高知県)

高知小水力利用推進協議会事務局長

#### ■瀧沢 忠文

高知県出身、建設会社の大阪支店勤務後、現在南国市の建設会社勤務

高知小水力利用推進協議会理事、高知県中央部担当